OPERATION MANUAL

NSK

コントラアングルハンドピース

FX57

コントラアングルハンドピース　FXシリーズ

取扱説明書

機器を安全に使用するため、ご使用前に必ずお読みください。
取り扱い説明書は、ご使用になる方がいつでも見ることのできる場所に保管してください。

認証番号 222ALBZX00008000号
MADE IN JAPAN
OM-C0436

Powerful Partners®

使用目的

有資格者による歯科領域の治療（歯面研磨）にのみ使用してください。

⚠ 注 意

・患者の安全を第一に考え、使用には十分に注意を払ってください。
・ガタ、振動、音、温度（発熱）に十分注意して、予め患者の口腔外で回転させ点検を行ってください。その時少しでも異常を感じたら、すぐに使用を中止し販売店へ連絡してください。
・使用中異常を感じたら、直ちに使用を中止し販売店まで連絡してください。
・取扱説明書で指定された以外の分解、改造は絶対に行わないでください。
・強い衝撃を与えないでください。特に落下させないように注意してください。
・ラバーカップ、ブラシ製造業者が指定している許容回転速度を守って使用してください。
・研磨時は安全、健康のため保護眼鏡等を着用してください。
・ハンドピース内のボールベアリングは消耗品です。破損した状態で使用すると発熱し、火傷の恐れがあります。
・研磨用ペースト使用後は、ペーストの内部での固着による故障を防ぐために、使用後すぐに注油洗浄を行ってください。
・絶対に逆回転で使用しないでください。逆回転で使用するとラバーカップ、ブラシが飛び出しけがをする恐れがあります。
・長時間使用していない状態で再び本製品を使用する際は、ガタ、振動、異音、発熱に注意して空回転させ、異常のないことを確認してから使用してください。
・酸化電位水（強酸性水、超酸性水）、または、滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りは行わないでください。
・本製品は、特定保守管理医療機器です。医療機器安全管理責任者を配置し、医療の安全管理の為の体制確保する事が、医療法等で義務付けられています。

1．仕　様

型　　式	FX57
一般的名称	ストレート・ギアードアングルハンドピース
販売名	コントラアングルハンドピース　FXシリーズ
許容入力最高回転速度（モータ）	20,000min^{-1}
ギア比	4：1　減速

2．ハンドピースとモータのセット方法

取り付ける際は、ハンドピースをモータのインサート部へまっすぐ差し込みます。
取り外しは、モータ前部とハンドピース後部をしっかり持ってまっすぐ引き抜きます。

⚠ 注 意

・ハンドピースの着脱は、駆動側のモータの回転が完全に停止してから行ってください。
・ISO3964またはJIS T 5904に準拠した接続部をもつモータに接続してください。
・モータの回転速度を20,000min^{-1}以下に設定して使用してください。

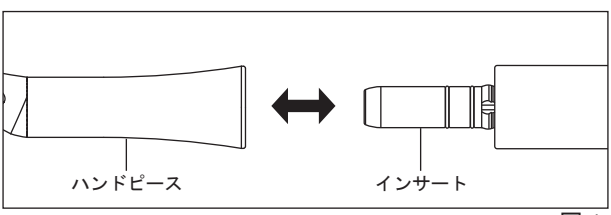

図 1

3．使用前の点検について

使用前に下記の手順で点検を行い、異常がないことを確認してから使用してください。

1) ラバーカップ、ブラシを取り付けます。
2) 取り付けたラバーカップ、ブラシの許容回転速度に回転数をあわせハンドピースを作動させ、ラバーカップ、ブラシのガタ、異常振動、異常音がないかを確認します。いずれかの異常があった場合は使用を中止し、販売店へ修理を依頼してください。
3) 上記の異常がない場合は、ハンドピースをそのまま１分間作動させてください。ハンドピース停止後、ハンドピース表面に異常な発熱がないか確認してください。発熱があった場合は使用を中止し、販売店へ修理を依頼してください。
4) 全ての異常がないことを確認できましたら使用を開始してください。

4．ラバーカップ、ブラシの着脱方法

4-1　取り付け

ハンドピースをモータに接続してください。ラバーカップ、ブラシをつまみハンドピースの回転軸にねじ部を差し込み、軽く締まるまでねじ込みます。（図２）

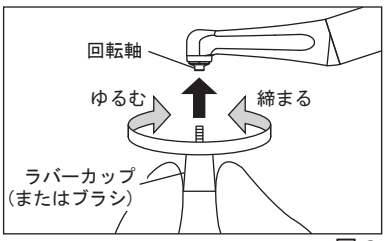

図２

4-2　取り外し

ハンドピースをモータから取り外し、ハンドピースの軸部を固定した状態でラバーカップ、ブラシをしっかりとつまみ、図２のゆるむ方向へ回しゆるめます。

5．メンテナンス

5-1　清　掃

表面の汚れをブラシ（金属製は不可）等で払い落とし、消毒用アルコールを含ませた綿等で拭き取ります。

5-2　注　油

注油は使用後、オートクレーブ前には、必ずパナスプレープラスまたはケア３プラスによって行ってください。

■パナスプレープラスによる注油（図３）

1) パナスプレープラスに、Ｅタイプスプレーノズルを強く差し込みます。
2) ハンドピースからラバーカップ、ブラシを取り外します。
3) Ｅタイプスプレーノズルをハンドピース後部へ差し込み、２秒間くらいスプレーします。注油は先端から異物等の汚れが出なくなるまで繰り返し行ってください。

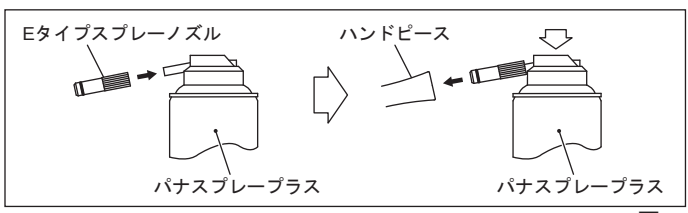

図３

⚠ 注 意

・注油する際は、ハンドピースをしっかり押さえてスプレーの圧力によって飛び出さないように注意してください。
・スプレーは、ハンドピース先端よりオイルが出るくらい（２秒間くらい）まで行ってください。
・パナスプレープラスを、逆さにして使用しないでください。
・上記の注油洗浄を何度か行ってもオイルに汚れが混じる場合は、内部部品が消耗している恐れがあります。販売店へ修理を依頼してください。

■ケア３プラスによる注油

自動注油システムケア３プラスのご使用をお勧めします。

1) ハンドピースを正しいアダプター（製品番号：Z280035）に接続します。
2) ケア３プラスの取扱説明書をご確認のうえ、注油を行ってください。

⚠ 注 意

取り外したハンドピース先端から出るオイルが汚れている時は、再度メンテナンスを行ってください。

5-3　滅　菌

弊社では、滅菌についてはオートクレーブ滅菌を推奨します。
初めてご使用になるとき、および各患者ごとの治療が終わりましたら、ラバーカップ、ブラシを取り外し下記のとおりオートクレーブ滅菌を行ってください。

■オートクレーブ滅菌方法

1) 表面の汚れをブラシ（金属製は不可）等で払い落とし、消毒用アルコールを含ませた綿などで拭き取ります。
2) パナスプレープラスまたはケア３プラスにより注油します。（5-2　注油を参照）
3) オートクレーブ用パウチに入れ封印します。
4) 135℃までの温度でオートクレーブ滅菌を行います。
例）121℃で20分間、または132℃で15分間
5) 使用するまでパウチにいれたまま、清潔な状態を保てる場所に保管してください。

⚠ 注 意

・薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌すると、表面が変色したり、内部部品に影響を与えます。オートクレーブ滅菌器の中には薬液が入らないように注意してください。
・乾燥工程で135℃以上に上昇してしまうような場合は、乾燥工程を省いてください。
・保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響が生ずる恐れの無い場所に保管してください。
・滅菌直後は高温となっていますので触れないように注意してください。
・弊社では、オートクレーブ滅菌を推奨しています。その他（プラズマ滅菌、EOG滅菌等）の滅菌方法は検証しておりません。

6．定期点検について

弊社では日常点検のほか、年に１度の定期点検を行うことをお薦めします。毎日使用される等、ご使用の頻度、環境によりましてはさらに短い期間で点検を行ってください。
なお、点検の際は販売店へご依頼ください。

株式会社ナカニシ　www.nsk-nakanishi.co.jp

お客様相談窓口　0120-7242-56（9:00～17:00/土日・祝祭日を除く）
e-mail：cs@nsk-nakanishi.co.jp

本社・工場　〒322-8666
栃木県鹿沼市下日向700
TEL：0289(64)3380　FAX：0289(62)5636

東京事務所　〒110-0015
東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 9F
TEL：03(5828)4180　FAX：03(5828)0064

大阪事務所　〒532-0003
大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル6F
TEL：06(6350)7217　FAX：06(6350)7218

本書の内容は、改善のため予告無しに変更することがあります。

'11.00.000Ⓝ